

**平成28年度 事務事業評価シート**

事業の概要	事務事業名	保育園施設営繕事業						担当部	こども未来部		
	会計区分	一般会計		事業類型	施設整備系		担当課	保育課			
	事業期間	平成12年度以前		～	平成31年度以降		担当係	保育係			
	総合計画 新基本計画	施策等	3 教育・子育て		13 子育て支援		3 保育サービス・幼児教育を充実します				
			重点事業		実施計画事業	○					
	予算区分	款	3	項	3	目	4	大	4	中	2
	根拠法令・個別計画										
	目的	何・誰を対象に	保育園に利用決定されている児童								
		どの様な状態にするのか	保育園施設の営繕工事を行うことにより、安心かつ快適な保育環境を創出する。								
	内容(手段) 目的達成のためにどのような事業を実施したか	<p>◆27年度実施内容 園舎改修工事などを行う。主な工事として、岩崎保育園遊具設置工事、さくら保育園駐車場整備工事、陶保育園網戸設置工事等。</p> <p>◆27年度直接経費の内訳 保育園営繕工事費15,552千円、保育園駐車場整備改修工事費1,507千円 ※下記、国・県支出金は第三子保育料無料化事業補助金(県)114千円、その他財源は保育料7,362千円</p> <p>◆28年度直接経費の内訳 手数料75千円、設計・監理委託料4,832千円、測量設計委託料6,200千円、保育園営繕工事費40,800千円、保育園駐車場整備改修工事費12,300千円、備品購入費1,000千円 ※下記、国・県支出金は第三子保育料無料化事業補助金(県)175千円、その他財源は保育料11,245千円</p>									
受益者負担	有 保護者の所得状況により保育料単価が異なる。										

			単位	H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28予算額
	コスト	直接経費		千円	55,007	24,938	17,059
費用		正職員	従事者数	0.70	0.70	0.70	0.70
			人件費	3,850	3,850	3,850	3,850
費用		その他職員	従事者数	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	0	0	0	0
費用合計		千円	58,857	28,788	20,909	69,057	
対前年比		%		48.9	72.6	330.2	
財源	一般財源		千円	48,340	25,228	13,433	57,637
	国・県支出金		千円	570	129	114	175
	その他財源		千円	9,947	3,431	7,362	11,245

業 績	活動指標名		単位	H25	H26	H27	H28
	営繕工事件数	件数	目標	25	21	22	12
			実績	21	20	21	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H25	H26	H27	H28
	実受入児童数 (年間延べ受入人数)	人	目標	30,480	31,080	34,680	30,720
			実績	28,429	29,159	30,792	
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成27年度の実施結果	事業の達成状況	実受入児童数は定員を目標としたが定員割れの園もあるため実績が追いついていない。				
		事業実施における課題	園舎のほとんどが老朽化しているため、突発的な予定外の工事が発生する。				
		基本施策の展開方向の目的に対する影響(貢献等)	営繕工事件数は目標を達しているが、老朽化した園が多くまだ充分でない。				
	平成28年度の改善内容	28年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	計画的に営繕工事を実施し、建物の長寿命化を図る。				
	平成29年度の事業の方向性	方向性の判定	拡大	対象の拡大や手段の充実等により、事業のボリュームを拡大すべきもの			
		判定理由	適正配置計画において多くの園で建物の長寿命化を図っている。これまでも適切な工事を実施しているが、老朽化により各園大規模修繕の必要性が年々高まっており、修繕件数が増加する見込みであるため拡大とする。				
		29年度以降の改善案	今後も園児が安全、快適に保育園生活をおくれるよう、計画的に営繕工事を実施する。工事の実施に際しては、適性配置計画に基づき、既存の施設の長寿命化を図っていく。				

二次評価	方向性の判定	判定理由
	拡大	一次評価のとおり。ファシリティマネジメントの視点から、計画的に営繕工事を実施し、建物の長寿命化を図ること。